

新生児集中治療室（Neonatal Intensive Care Unit: NICU）入院児の

予後改善のための後ろ向きコホート研究

1. 研究の対象

2003年1月1日～2025年12月31日に山梨県立中央病院NICUに入院したお子様

2. 研究目的・方法

本邦において新生児集中治療室（Neonatal Intensive Care Unit: 以下NICU）に入院したお子様達の予後（死亡率、疾患の合併症率や発達の状況）は現在世界でもトップレベルとされています。しかしながら様々な問題を抱えるお子様も多くさらなる改善を目指す余地が大きいと考えられています。そこで、NICU入院中の臨床的な情報と退院後のお子様の状況を解析することが、治療方法などに適切な改善策を講じるためにも重要となります。収集した臨床情報は統計学的に解析され、今後の母子医療の向上を目的として使用されます（それ以外の目的で使用されることはありません）。また特に母子医療の向上に資する知見が得られた場合などは医学雑誌、学会、研究会等で発表されることがあります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床情報：胎児発育歴および母体臨床情報（前期破水の有無等）、NICU入院時の状況、出生時在胎週数や出生体重等の計測値、各種検査データ、人工呼吸器などの治療データ、使用薬剤、合併症状況、転帰（生存・死亡、転院）、外来での発達の様子、カルテ番号など

なお、新生児やご家族の個人的な事柄（氏名、住所等のプライバシー情報）に関する情報は含まれず、全て番号（解析識別番号等）で解析されます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）

研究責任者：

山梨県立中央病院 新生児内科 内藤 敦